



市の動向を、タイムリーに掲載します

埼玉県西部地域でゼロカーボンに関する共同プロジェクトを実施

◆環境省の脱炭素モデル事業に採択

環境省の「地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業」にダイアプラン構成市(狭山・所沢・入間・飯能・日高)と金融機関、支援機関が共同で提案を行い、県内で初めて採択を受けました。今後、広域のスケールメリットを生かしたスキルアップ勉強会などの共同事業を実施していきます。

◆地域企業の脱炭素行動促進実証事業

脱炭素行動変容アプリケーションを企業に提供し、従業員の脱炭素につながる行動を促進します。

対象地域 狭山市・所沢市・飯能市・日高市

期間 事業所の募集/9月下旬まで 実証/10月

問合せ 産業振興課☎2937-6974か環境課へ☎2937-6793

◆廃食油のバイオディーゼル利活用事業

給食センターなどから排出された廃食油をリサイクルし、活用することで資源を循環させる経済モデル確立を目指します。廃食油は入間市内の企業が回収し、狭山市内の企業でバイオディーゼル燃料に精製。その後、公共機関

で利用されます。

対象地域 狭山市・入間市・飯能市・日高市

問合せ 資源循環推進課へ☎2937-6943

入間小学校跡地のケヤキの後継木を配布

令和3年から育成を続けてきた、入間小学校跡地のケヤキの後継木が配布可能な大きさになったことから、受け取りを希望する方への配布を行います。

配布日時 10月1日(火)、10時~12時

配布場所 都市緑化植物園

申込み 注意事項をご確認の上、9月23日(休)までに電子申請で市街地整備課へ☎2941-6839



働きやすい職場を考える市職員向けセミナーを開催

市では女性のための職場環境改善に向けた取り組みを推進しており、市役所においても、働く女性が個性や能力を十分に発揮し活躍できる職場づくりを目指しています。



今年度は取り組みの一環として、企業から先進的な事例を学ぶセミナーを全4回開催しています。第3回の開催となった8月28日(水)は、さまざまなメディアで取り組みが紹介されている企業経営者の井ロー世氏を講師に招き、オフィス環境の整備などについて講義を受けました。
問合せ 男女共同参画センターへ☎2937-3617



題字・絵 池原 昭治氏

市長の主な動き

○8/3・4…狭山市入間川七夕まつり ○8/8…南海トラフ地震臨時情報発表に伴う緊急対応協議 ○8/9…南海トラフ地震臨時情報に関わる情報共有会議 ○8/14…危機対策会議 ○8/15…平和祈念講演会、災害警戒本部会議 ○8/21…定例庁議 ○8/27…定例記者会見 ○8/30…市議会第3回定例会

勤むべきは実学なり

7月に一万円札の顔を譲った福沢諭吉の代表作「学問のすすめ」。この中で福沢は「もっぱら勤むべきは人間普通日用に近き実学なり」と、難しい言葉などよりも、普通の生活に役立つ実学を一生懸命やるべきだと説きました。

私はよく一人でスーパーへ買い物に行くのですが、お店で棚を眺めると、今の世相や、実学が見事に反映されているなと感じます。例えば最近では米不足。地震や昨年の作柄の影響と言われていますが、不安感が引き起こす人間の心理を映しています。

また、物価高の中で、いかに商品を購入してもらおうかというメーカーの努力を垣間見ることができます。そして、家族構成の変化が商品展開を変えていく様子など勉強になることばかりです。仕事の都合で閉店間際に行くこともありますが、食品ロス削減のために赤い値札が貼られている商品も率先して購入します。現在、日本の食品ロスは年間500万トンに上ると言われており、処理費用として市の財政にも影響があります。環境にもお財布にも、優しい生活を心がけましょう。

狭山市長 小谷野 剛